



平成29年10月5日

報道各位

株式会社 十六銀行

**東海地域中核産業支援投資事業有限責任組合による
国際バカロレア認定校へのメザニンファイナンスの実施について
－教育機関への資金供給を通じた地方創生の取り組み－**

株式会社十六銀行（頭取 村瀬幸雄）および十六リース株式会社（社長 内田篤）ならびに株式会社日本政策投資銀行（社長 柳正憲、以下「DBJ」という）が共同出資する東海地域中核産業支援投資事業有限責任組合（注1）（以下、「当ファンド」という）は、学校法人渡辺学園（理事長 渡辺壽男、以下「当学園」という）に対し、1億円のメザニンファイナンス（注2）を実施しましたのでお知らせします。

当学園は、昭和9年に長良幼稚園（現ながら幼稚園）を創立して以来、岐阜市内で長年にわたり複数の幼児教育施設を運営しております。その中でも、「サニーサイドインターナショナルスクール」は、昨年度、教育法一条校として全国初の国際バカロレア初等教育プログラム（PYP）（注3）の認定を受けております。

当学園では、次代を担う子どもたちに時代に則したより良い教育を提供すべく、国際バカロレア認定の取得をはじめとしたさまざまな挑戦を続けることで、地域の将来を担いうる優秀な人材の育成を通じて、長期的な視点で当地区経済の基盤づくりに貢献することを目指しております。

本件は、教育を通じた地方創生といえる当学園の先進的な取り組みに対して、事業性評価に基づき資金面からサポートを行うものです。

当行では、通常の融資はもちろんのこと、メザニンファイナンスによる資本性資金の提供により、地域経済の活性化、競争力強化に向けたお客さまの取り組みを積極的に支援してまいります。

（注1）岐阜県・愛知県に顧客基盤を有する当行とDBJが連携し、優先株式や劣後ローン等の金融サービスを組み合わせながら、地域の事業者へのサポート体制を強化することを目的に、平成28年1月に設立されました。

（注2）メザニンとは「中二階」を意味しており、資本と負債の中間的性質を有するファイナンスを指します。

（注3）国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラムで、文部科学省が、グローバル人材育成の観点から国内での普及・拡大を推進しています。国際バカロ

レアとは、1968年に、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与えることで大学進学へのルートを確保することを目的として設置されたものです。そのうち、PYP（プライマリー・イヤーズ・プログラム）は、3歳～12歳を対象に、精神と身体の両方を発達させることを重視したプログラムであり、どのような言語でも提供が可能としています。平成29年6月1日時点で世界1,509校（国内22校）が認定されています。（文部科学省ホームページより抜粋）

以 上

【本件ご照会先：経営企画部ブランド戦略室 TEL058-266-2512】